



あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。

むくみ（浮腫）をとる

まずは原因を探ります。

基本的には基礎疾患の有無を問わないことが多いですが、基礎疾患がある場合は有効率は低いでしょう。



あらゆる浮腫にとりあえず使えそうなのは、(17)五苓散(ごれいさん)です。部位としては、上半身、特に頭部の浮腫に有効です。

例えば、低気圧時の頭痛、熱中症、二日酔いの頭痛には有効です。これらの病態は脳浮腫と考えられます。

五苓散を飲むとアクアポリン(AQP)という水チャネルに作用して、水分子を移動させます。

脳浮腫があれば水分子を阻止し、脱水状態ならば水分子を取り入れます。(浮腫状態、利尿作用、脱水状態、抗利尿作用)。

水分バランスを勝手に調節してくれるのはありがたいです。

五苓散は「利尿剤」といって「利尿薬」よりも効果は劣りますが、多く服用しても基本的に脱水にならず腎機能も悪化させない、電解質に与える影響もほとんど無いのです。

これらの特徴を知って、ぜひ五苓散を試してみてください。

トピックス

最近「心不全パンデミック」と言われるように、超高齢社会に伴い心不全が増えており、入院治療を余儀なくされる人が顕著です。トリプタン(商品名:サムスカ)は入院下で服用する薬で、血管内水分量がある程度維持しつつ利尿を起こす薬剤であるため、腎機能悪化を起こしにくいと言われていています(電解質の異常をきたしにくい)。ただ患者さんの中にはノンレスポonderが存在するため、五苓散を併用することによって心不全を改善する方法が取られています。

日頃から使うなら

- ①昨夜水分を摂り過ぎて、今朝起きたら顔がパンパンに腫れている
- ②二日酔いで頭痛、吐き気、嘔吐、口喝が止まらない
- ③幼稚園バスに乗ると乗り物酔いで気持ち悪くなり吐く
- ④低気圧が近づくと頭痛が起きる
- ⑤脳炎、脳出血、脳腫瘍など脳外科疾患



五苓散以外のむくみをとる漢方薬

(20) 防己黄耆湯 (ぼういおうぎとう)	色白、汗かき、水太りの人の浮腫、特に下肢の浮腫に良い
(36) 木防己湯 (もくぼういとう)	低心機能で肺うっ血があるが下腿浮腫が少ない場合に使用することが多い
(28) 越婢加朮湯 (えっぴかじゆつとう)	虫さされ、蜂窩織炎などの炎症性の強い硬い皮膚の浮腫
(107) 牛車腎気丸 (ごしゃじんきがん)	加齢に伴う下腿浮腫に有効
(23) 当帰芍薬散 (とうきしゃくやくさん)	冷え、月経不順、月経困難のある女性に使う
(40) 猪苓湯(ちよれいとう)	腰から下の浮腫に有効

※西洋薬と漢方薬の併用は可能です。

お知らせ

岐阜市の漢方外来 1月8日(土)、2月12日(土)、26日(土)
時間: 14:00-17:30 場所: 中島小児科(岐阜市健屋東町2-1) ※すべて「院外処方」です。

小児夜間急病センター当番日 1月14日(金)
19:30-22:30(受付) 場所: 岐阜市民病院にて

休診のお知らせ 1月26日(水)
都合により休診します。よろしくお祈りします。